



じりつかつどう けんしゅうぶ  
自立活動・研修部インフォメーション

## でんでんむし

れいわ ねん がつごう  
令和5年2・3月号

あい ち けんりつおかざきろうがっこう  
愛知県立岡崎聾学校

幼稚園ほし組のみなさん、小学部6年生のみなさん、中学部3年生のみなさん、高等部3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。特に、高等部3年生のみなさんは、これまでの通い慣れた環境から新しい世界へ一歩を踏み出すことになります。みなさんがこれから活躍する世界の中では、おなじ聞こえない、聞こえにくい仲間が、たくさん活躍されています。今号は、活躍する仲間や、関係団体を紹介していきます。

まずは、昨年放映されたテレビドラマ「silent」に出ていたお二人から・・・

那須映里さん。

ろう者。手話エンターティナー、役者として活躍されています。手話を広めるためにさまざまな活動をしています。



ほかにも・・・

江副悟史さん

ろう者。社会福祉法人トット基金日本ろう者劇団代表。手話狂言や男組のメンバーとしても活躍されています。「手話で楽しむみんなのテレビ」にも出演されています。

松森果林さん

中途失聴者。聞こえる世界、聞こえない世界両方をしる立場から、ユニバーサルデザイン普及のためのアドバイス、大学講師、講演、執筆等を行っています。



後藤佑季さん

人工内耳装用者。NHK大阪放送局のアナウンサー。東京パラリンピックでは、パラ陸上の中継を担当していました。



つぎ あい ち けん なか みずか き ぎょう がん ば なか ま  
次に愛知県の中で・・・自ら起業し頑張っている仲間もいます。



ほんにんていきょうしゃしん  
(本人提供写真)

えりぐちてつじ ちたぐんひがしうらざいじゅう  
江里口哲司さん(知多郡東浦在住)

キッチンカーで頑張っています。今年で8年目です。主に土日祝に各地イベントに出店しています(愛知、三重)

みずか きぎょう ちようせん おも ちようかくしょうがい いしや  
自ら起業に挑戦しようと思い、聴覚障害者がまだやっていないキッチンカーを始めたそうです。A4サイズのメニュー表を作り指差し等で注文を受けています。コロナ禍により、聴覚障害の理解が広まりつつあり、接客もスムーズになってきているとのこと。聴者と同じ土俵に立ち挑戦を続けています。



さいご ちようかくしょうがい がくせい だんたい しょうかい  
最後に、聴覚障害学生のための団体を紹介します。

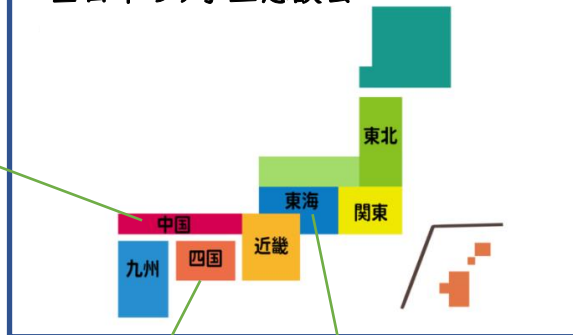
### 「全日本ろう学生懇談会」(全コン)

こくない ゆいいつ だいがく だいがく こんどうきょういく き かん まな ちようかくしょうがい がくせい ぜんこく そしき れきし  
国内で唯一の大学・大学院高等教育機関で学ぶ聴覚障害学生のための全国組織です。その歴史は64年と古く、1959年近畿ろう学生懇談会設立から始まります。大学に入学しても情報保障が得られず、また大学入学も障害を理由に断られることもありました。全コンは、そうした当時からずっと聞こえない学生が高等教育機関で学ぶために「独りぼっちのろう学生をなくそう。」「聴く権利・学ぶ権利」「社会改革」という三本柱の目標に沿って活動しています。各支部があり、夏には全コンの集いが行われています。高校生から加入することができます。本校の聴覚障害の先生もかつては全コンもしくはその前団体で活動していました。その感想を紹介します。

#### ☆幼稚園 小林 咲子先生

しよぞく ちゅうごく ち ちようかくしょうがい がくせい こんだんかい  
所属：中国地区聴覚障害学生懇談会  
だいがく じょうほう ほしょうたいせい  
大学に情報保障体制がなかったため、  
だいがく じょうほう ほしょうたいせい せつりつ かく  
大学の情報保障体制設立のために、各  
ち なかま かくだいがく じょうきょう こうしやう し  
地の仲間から各大学の状況や交渉の仕  
かた おし こうしやう すべ  
方を教えてもらいました。交渉する術を  
し 知ることができたことは、いま ちから になっ  
ています。

#### 全日本ろう学生懇談会



#### ☆高等部 井上 琴子先生

しよぞく ぜん しこく しぶ  
所属：全コン四国支部  
ぜんこく し あい ができ、はな あ ひと  
全国に知り合いができ、話し合って一つのものを  
つく けいけん ができました。人の意見をしっかり  
き 聞いてよりよいアイデアを かんが ちから つ  
けることができたと思います。

#### ☆小学部 原和大先生

しよぞく ぜん どうかい しぶ  
所属：全コン東海支部  
ぜんこく かく ち と まわ わ ひろ じょうほうこう  
全国各地に飛び回って、仲間の輪を広げて情報交  
かん 換しながら、さまざまな課題を解決する方法を探り  
ました。また、イベントを運営することも多く、運  
えいほう ばん 営方法を学んだことが今でも生かされています。